**火薬庫工事設計明細書**

１　火薬庫の位置及び付近の状況

　　別図のとおり

２　保安物件との距離

　⑴　最大貯蔵量(規則第２０条第２項)

　　ア　爆薬庫　　（　　）／４０＋（　　）／８０＋・・・・・・・・＝（　　）≦１

　　イ　火工品庫　（　　）／40,000,000＋・・・・・・・・・・・・・＝（　　）≦１

　⑵　爆薬換算による貯蔵量（規則第１条の６）

　　ア　爆薬庫　　（　　）／１＋（　　）／２＋・・・・・・・・・・＝（　　トン）

　　イ　火工品庫　（　　）／1,000,000＋・・・・・・・・・・・・・・＝（　　トン）

　⑶　爆薬庫又は火工品庫から保安物件までの保安距離は下記の事項及び付近の状況図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保安物件の種類（法定距離） | 爆薬庫 | 火工品庫 |
| 保安物件名 | 方角及び距離 | 保安物件名 | 方角及び距離 |
| 第１種（　　　ｍ） |  | 　　　　　　ｍ |  | 　　　　　　ｍ |
| 第２種（　　　ｍ） |  | 　　　　　　ｍ |  | 　　　　　　ｍ |
| 第３種（　　　ｍ） |  | 　　　　　　ｍ |  | 　　　　　　ｍ |
| 第４種（　　　ｍ） |  | 　　　　　　ｍ |  | 　　　　　　ｍ |

　　※　保安物件が当該事業用施設の場合，土堤の高さが火薬庫の高さの５／４倍以上の場合はその旨明記すること。

３　火薬庫の構造及び設備

　⑴　火薬庫，土堤，避雷装置，防火設備，警戒設備及び警鳴装置等の全体設置計画は，別図のとおり。

　⑵　火薬庫の構造等は，下記の事項，正面図，平面図，側面図，断面図，配筋図，基礎図及び小屋組図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 爆薬庫 | 火工品庫 |
| 構造 | 平屋建（　　　　　　造り） | 平屋建（　　　　　　造り） |
| 壁の厚さ | （　　　　　　　　　　ｃｍ） | （　　　　　　　　　　ｃｍ） |
| 盗難防止措置 | 設置場所 | （　天井裏　・　屋根　） | （　天井裏　・　屋根　） |
| 種類 | （　金網　・　有刺鉄線　） | （　金網　・　有刺鉄線　） |
| 鉄線の直径 | （　　　ｍｍ）（　　　　番線） | （　　　ｍｍ）（　　　　番線） |
| 網目の直径 | （　　　　　　　　　　ｃｍ） | （　　　　　　　　　　ｃｍ） |
| 小屋組及び屋根 | 木造（　　　　　　　　　葺） | 木造（　　　　　　　　　葺） |
| 基礎及び排水措置 | 別図のとおり | 別図のとおり |
| 備考 |  |  |

⑶　入口の２重扉，窓，床，通気孔及び換気孔の構造等は，下記の事項，建具図及び設置図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 爆薬庫 | 火工品庫 |
| 内扉 | 構造 | 木製（１本引・２本引） | 木製（１本引・２本引） |
| 錠の種類 |  |  |
| 外扉 | 本体 | 構造 | 鉄板製（１本引・２本引・方扉・両扉） | 鉄板製（１本引・２本引・方扉・両扉） |
| 寸法（ｍｍ） | 幅　　×高　　×厚　　×見込　　 | 幅　　×高　　×厚　　×見込　　 |
| 補強用アングル（ｍｍ） | 縦　　×横　　×厚　　 | 縦　　×横　　×厚　　 |
| 合わせ目 | 隙間（　　ｍｍ）目かくし（　　ｍｍ） | 隙間（　　ｍｍ）目かくし（　　ｍｍ） |
| 蝶番 | 種類 | 角蝶番 | 角蝶番 |
| 長さ及び数 | （　　　ｍｍ）（　　　箇所） | （　　　ｍｍ）（　　　箇所） |
| 真棒の抜けない加工措置 |  |  |
| 取付方法 |  |  |
| ロット棒 | 取付箇所 |  |  |
| 取付数 |  |  |
| 直径及び材質 |  |  |
| 長さ及び取付方法 |  |  |
| 扉枠の固定方法 |  |  |
| 錠 | 種類 | 面付レバータンブラー本締錠・シリンダー本締錠（面付・掘込） | 面付レバータンブラー本締錠・シリンダー本締錠（面付・掘込） |
| デッドボルト | 材質 |  |  |
| 長さ | （　　　　　　　　　　ｃｍ） | （　　　　　　　　　　ｃｍ） |
| かんぬきの鉄棒 | 直径（　　　　　　　　　ｍｍ）長さ（　　　　　　　　　ｍｍ） | 直径（　　　　　　　　　ｍｍ）長さ（　　　　　　　　　ｍｍ） |
| 窓 | 高さ及び数 | 地場面から（　　ｍ）（　　箇所） | 地場面から（　　ｍ）（　　箇所） |
| 鉄棒 | 直径（　　ｃｍ）間隔（　　ｃｍ） | 直径（　　ｃｍ）間隔（　　ｃｍ） |
| 内方 | 引戸に不透明ガラスを使用 | 引戸に不透明ガラスを使用 |
| 外方 | 構造 | 鉄板製（１本引・２本引・方扉・両扉） | 鉄板製（１本引・２本引・方扉・両扉） |
| 寸法（ｍｍ） | 幅　　×高　　×厚　　 | 幅　　×高　　×厚　　 |
| 蝶番 | 種類 | 角蝶番（　　　　　　　　箇所） | 角蝶番（　　　　　　　　箇所） |
| 取付方法 |  |  |
| 外から開かない措置 |  |  |
| 床の高さ | 地場面から（　　　　　　ｃｍ） | 地場面から（　　　　　　ｃｍ） |
| 内面の板張り | 内面は鉄類を表さない。 | 内面は鉄類を表さない。 |
| 幅及び数 | （　　　　ｃｍ）（　　　　箇所） | （　　　　ｃｍ）（　　　　箇所） |
| 金網 | 鉄線の直径 | （　　　　ｍｍ）（　　　　番線） | （　　　　ｍｍ）（　　　　番線） |
| 網目の直径 | （　　　　　　　　　　　ｃｍ） | （　　　　　　　　　　　ｃｍ） |
| 鉄棒 | 直径（　　ｍｍ）間隔（　　ｍｍ） | 直径（　　ｍｍ）間隔（　　ｍｍ） |
| 換気孔の取付数 | 天井（　　個）両つま（各　　個） | 天井（　　個）両つま（各　　個） |

　⑷　土堤の構造等は，下記の事項，立面図，平面図，断面図及び施設設置図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 爆薬庫 | 火工品庫 |
| 堤脚から外壁までの距離 | （　　　　　　　　　ｍ） | （　　　　　　　　　ｍ） |
| 勾配及び高さ | （　　度）屋根以上（　　ｍ） | （　　度）屋根以上（　　ｍ） |
| 頂部の厚さ及び堤面の覆い | （　　　　ｍ）（　　　　　） | （　　　　ｍ）（　　　　　） |
| 堤脚の土留め高さ及び材料 | （　　　　ｍ）（　　　　　） | （　　　　ｍ）（　　　　　） |

　⑸　避雷装置の構造等は，下記の事項，配線配置図及び火薬庫の保護範囲図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 爆薬庫 | 火工品庫 |
| 型式 | （避雷針・架空池線）　 | （避雷針・架空池線）　 |
| 設置場所及び高さ | （　　　）・上端から（　　ｃｍ） | （　　　）・上端から（　　ｃｍ） |
| 突針又は架空線 | 直径×長さ断面積 | （　　　ｍｍ×　　　ｍｍ） | （　　　ｍｍ×　　　ｍｍ） |
| 材質及び抵抗 | （　　　　　）（　　　　Ω） | （　　　　　）（　　　　Ω） |
| 避雷導線及び支線 | 断面積×長さ | （　　　ｍｍ×　　　ｍｍ） | （　　　ｍｍ×　　　ｍｍ） |
| 材質及び抵抗 | （　　　　　）（　　　　Ω） | （　　　　　）（　　　　Ω） |
| 設置電極 | 直径×長さ | （　　　ｍｍ×　　　ｍｍ） | （　　　ｍｍ×　　　ｍｍ） |
| 材質及び抵抗 | （　　　　　）（　　　　Ω） | （　　　　　）（　　　　Ω） |

　⑹　警鳴装置の構造等は，下記の事項，電気配線図，仕様書及び設置図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 警鳴を発する装置 | 警報を発する装置 |
| メーカー及び型式 |  |  |
| 設置場所 | 火薬庫の外壁・付近（　　　） | （自宅・守衛室・その他） |
| 本体 | 外函 | 鉄板製・厚さ（　　　　ｍｍ） | 鉄板製・厚さ（　　　　ｍｍ） |
| 錠の種類 |  |  |
| 警報器 | 種類 | （サイレン・ブザー・スピーカー・ベル） | （サイレン・ブザー・スピーカー・ベル） |
| 警報等の始動及び音量 | 扉（開放・振動）（　　　　　　　デシベル） | 扉（開放・振動）（　　　　　　　　デシベル） |
| 回路 | 庫内電流 | 爆薬庫（　　　Ａ）火工品庫（　　　ｍＡ） |  |
| 切断対策 | （警鳴・金属管で保護） | （警鳴・金属管で保護） |
| 保安装置 | 避雷器，ヒューズ（　　ｍＡ） | 避雷器，ヒューズ（　　ｍＡ） |
| テスト装置 | スイッチ式 | スイッチ式 |
| 電源 | 電池（消耗状況） | （メーター・表示灯） | （メーター・表示灯） |
| 交流（停電時の措置） | 予備電池に自動切替え | 予備電池に自動切替え |

⑺　暖房設備，庫内照明設備，防火設備及び警戒設備は，下記事項，配線配置図及び施設設置図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 爆薬庫 | 火工品庫 |
| 暖房設備 | 有（温水式）・無 | 有（温水式）・無 |
| 庫内照明設備 | 電灯 | 防爆式 | 防爆式 |
| 配線工事の種類 | （金属管・外装ケーブル） | （金属管・外装ケーブル） |
| 自動遮断器又は開閉器 | 庫外設置 | 庫外設置 |
| 防火設備 | 防火用空地 | 幅（　　　　　　　　　　ｍ） | 幅（　　　　　　　　　　ｍ） |
| 貯水槽 | （　　　　トン×　　　槽　） | （　　　　トン×　　　槽　） |
| 警戒設備 | 警戒札の種類 |  |  |
| 夜間点灯装置 | 有（別図）・無 | 有（別図）・無 |

４　貯蔵上の取扱い

　⑴　最高最低寒暖計を爆薬庫内に設置する。

　⑵　火薬類の積載は，下記の事項及び別図による。

　　　火薬類の最大積載量（外装の寸法による計算式を明示）

　　ア　爆薬庫

　　イ　火工品庫

　⑶　その他の取扱いは規則第２１条による。

５　年間貯蔵予定量

　　爆薬庫（　　　　トン）＋火工品庫（　　　　トン）＝（　　　　トン）

６　火薬類取扱保安責任者の選任予定（別添保安手帳の写し）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 氏名（年齢） | 免状の種類 | 保安手帳番号 |
| 取扱保安責任者 |  |  |  |
| 同代理人 |  |  |  |
| 同副保安責任者 |  |  |  |

　　※　選任（解任）届は火薬庫の完成届出と併せて提出します。

７　火薬庫竣工予定

　　　　　年　　　月　　　日頃